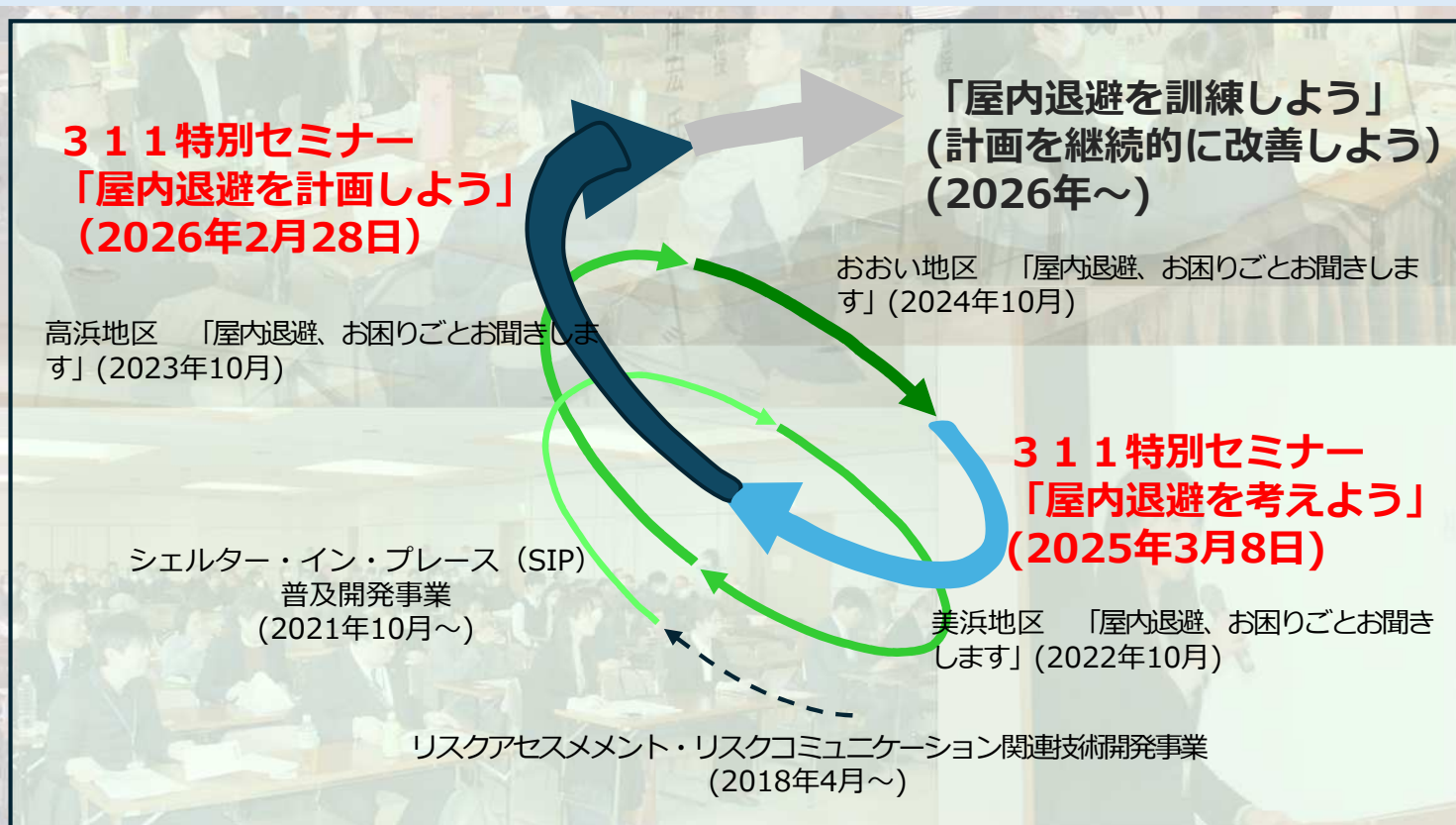


3 1 1 特別セミナー これからの原子力防災 第二弾 屋内退避を計画しよう

日時 2026年2月28日(土) 13:00~17:00
(高校生・大学生向けセミナー 11:00~12:00)

場所 敦賀市東洋町1-1 敦賀フラザ萬象



2011年3月の事故から15年、原子力の先進県
として、この事故の教訓を地元に活かすため、
多くの皆様のご参加をお待ちしています。
右のQRコードからお申し込みください。



後援 福井県、越前町、越前市、南越前町、敦賀市、美浜町、
若狭町、小浜市、おおい町、高浜町
関西電力株式会社原子力事業本部、日本原子力発電株式会社敦賀事業本部、
日本原子力研究開発機構敦賀事業本部、福井工業大学

主催 地域住民のための原子力緊急時援助隊 (NEATR) 運営組織
認定特定非営利法人 ワネッツ
福井県小浜市四谷町9-22 電話090-5170-9495

高校生・大学生向けセミナー

時間 11:00～12:00 (開場 10:30)
場所 プラザ萬象 第1会議室

講師 NPO福島ダイアログ理事長 安東量子氏
テーマ 2011年3月11日、そのとき私は

12:00～ 昼食・休憩 (第一会議室)・・・参加された高校生や大学生の皆さまには昼食あります
13:00 セミナー開会、肥田NPO法人ワネッツ理事長あいさつ

講演 計画を作成する意義

時間 13:15～13:40 (質疑含む)
場所 プラザ萬象 大ホール

講師 福島県立医科大学教授 坪倉正治氏

グループワークおよび発表 (休憩含む)

時間 グループワーク説明 13:45～14:00 グループワーク 14:00～15:30
グループワーク発表 15:30～16:10
場所 プラザ萬象 大ホール (12グループ)

- グループワークの目的は「想定されたモデルにおいて、模擬コミュニティで討論し、これに対応するコミュニティ対応計画を作成し、発表するところ。そして積極的な参画により、自ら屋内退避について学ぶこと」です。
- グループワークでは「自分の所属や肩書を言うこと」および「他人の意見を否定すること」の禁止事項を設け、年齢や国籍に関係なく自由闊達な討論の場とします。
- グループワークでは、模擬の自治会長、自治会副会長、自治会書記および自治会連絡班員を選任していただきます
- 自治会長の進行のもと作成するコミュニティ対応計画の想定は、コミュニティモデル6個およびケース(事象)モデル12個から模擬コミュニティ討議で選定します。初期モデルは右表のとおり指定します。
- 作成するコミュニティ対応計画は、自治会書記がパソコンのエクセル表(A4で1枚)に、5項目から選択入力することで作成します、
- 最後に1枚/1計画の表を自治会副会長から発表していただきます。同じコミュニティモデルやケースモデルを選択した場合でも、違う対応計画になるかと思います。
- その違いが、また「学ぶ」場になります

グループワークの進め方



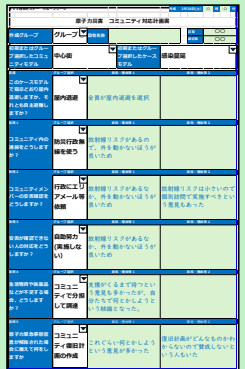
コミュニティモデル



ケースモデル



コミュニティ対応計画



G R	初期条件	ファシリテータ
①	コミュ1：中心街 ケース1：早期放出	福島医科大学 坪倉教授
②	コミュ2：住宅街 ケース2：中期放出	敦賀看護大学 山崎教授
③	コミュ3：農村部 ケース3：遅延放出	福井工業大学 川上准教授
④	コミュ4：漁村部 ケース4：多量放出	福井県 武田主任
⑤	コミュ5：外国人多数 ケース5：中量放出	福島ダイアログ 安東理事長
⑥	コミュ6：高齢者多数 ケース6：少量放出	ワネッツ 肥田理事長
⑦	コミュ1：中心街 ケース7：風雨警報下	ワネッツ 高城理事長
⑧	コミュ2：住宅街 ケース8：津波警報下	ワネッツ 山本
⑨	コミュ3：農村部 ケース9：低温警報下	ワネッツ 弟子丸
⑩	コミュ4：漁村部 ケース10：高温警報下	ワネッツ 西村
⑪	コミュ5：外国人多数 ケース11：感染蔓延下	ワネッツ 井上
⑫	コミュ6：高齢者多数 ケース12：停電下	ワネッツ 安藤

グループワーク講評

時間 16:10～16:45
場所 プラザ萬象 大ホール

講評者 坪倉教授、山崎教授、川上准教授、
武田主任、安東理事長
司会 肥田理事長

16:50～ 開会、高城NPO法人ワネッツ副理事長あいさつ
アンケート記入